

平成23年 4月25日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 NPO 法人 障害者の自立を支える会 こすもす
自立援助ホーム まんぼう

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

小さなチャレンジのための「たのしい放課後!!」

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

当法人は、これまで主に18歳以上の障害者を対象に自立支援及び本人活動の支援をしてきました。しかし、親子分離や自立への自覚等いざ自立を本格的に考える時期に入ると、子どもの時どのような社会的支援を受けてきているかが問題であることも痛感してきました。また、社会情勢の変化や悪化から子ども達を取り巻く人的環境も厳しさを増し、放課後及び休日についても小・中学校での保障もなく、障害認知も理解もされにくいのが現状であります。その状況下、障害がある子どもやその家庭の日常生活に困難をきたすとの相談が増えたため、支援の幅を児童まで広げました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

対象:障害をお持ちの小、中、高校生

活動内容:・原則週2回程度 下校後数時間 夏、冬、春休み期間は午前、午後の数時間 5日～10日程度実施

施設内で宿題、おやつづくり、お絵かきなど 図書館、スポーツセンターなどの利用、買い物、散歩など 個々の希望 状況に応じて、またはテーマをきめて過ごします。

・月に1～2回 土、日曜日、休日

織り教室

・特別企画 プロフェッショナルな講師による楽しめる企画 可能な限り地域の子ども達も参加も考えます。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

市内を中心に、学校関係、福祉団体、関係各機関等へスケジュール等印刷物の発信をするにあたり、スケジュールにテーマや季節行事等を加えました。子どもたち及び保護者に活動内容が見えることで、利用率の増加につながる一因となりました。特別企画では、公的機関や公共施設、スーパー等様々なところにポスターを掲載して呼び掛け、地域の子どもたちが参加できるようにしました。また、内容においても障害の有無に関わらず楽しめるものを計画し、一般の子どもや「たのしい放課後!!」登録者の兄弟や家族の参加があり、障害の有無に関わらない活動の場となりました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

実施する中で、子どもたち自身で時間を過ごす・作りだす事の難しさ、小集団であることの重要性を感じました。そのため、活動内容にテーマを持たせることや子どもたちが同じ空間・時間・事柄等を共有できる内容等に加え、日々の活動や季節行事、特別企画を行いました。こうした日々の活動の積み重ねの中で子どもたちが見せる変化にご家族と共に喜んでいるところでもあります。ご家族からは定期的利用の他、緊急時(活動日以外の時間帯)への支援も望まれ、市内外の公的機関等からの情報より、当プロジェクト対象外の時間帯、子どもたちへの支援の必要性もさらに感じています。限られた支援の中でどう拡大が図れるかを今後検討していきたいです。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

平成22年度 活動報告

4月4日『光と色のふしぎあそび ～ 色セロハンであそぼう～』



8月19日『紙芝居サークル 原っぱ による… かみしばい』



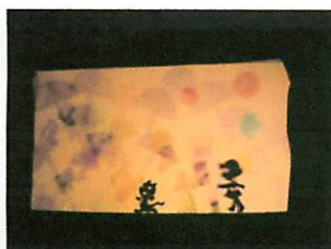
8月26日『うまに のろう!!』



9月23日『フィンガーペインティング』



11月23日『影絵とブラックシアター 光と影のせかい』



12月24日『Xmas会』



1月6日『初詣』



2月2日『節分パーティー』



2月11日『The' 和太鼓』



『織り』

